レッスン　PYR.40 エクササイズ１

目を閉じて静かに座り､心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白の自分自身を見て、自分の形の境界を感じます…あなたは今自分の形の境界を感じています…同時に純白の五芒星の中で守られている自分を見ます…

　それでは四面ピラミッドの中央に立っている自分を見、あなたは正面の純白のサイドに面しています…右側は赤く輝いているサイド、後ろはホワイトブルーのサイド、左はウルトラバイオレットのサイドです…あなたは四面ピラミッドのなかにいます…そのような状態にいます…

　それでは右に90度回転します…今あなたは赤の輝きのサイドに面しています…左には純白のサイド、右にはホワイトブルーのサイドがあり、後ろにはウルトラバイオレットのサイドがあります…今、身体を動かさずに、それらのサイドの輝きを同時に見ます…

　それではさらに右に90度回転します…今ホワイトブルーのサイドに面しています…左側が赤の輝き、右はウルトラバイオレットの輝き、そして後ろは純白の輝きのサイドです…あなたはそれら全ての輝きを同時に見ます…

　それでは左に180度回転し、純白のサイドに面しています…しかし同時に周囲に他の全ての色の輝きのサイドを見ることができます…

　左に90度回転します…今ウルトラバイオレットのサイドに面しています…左はホワイトブルーのサイド、後ろは赤のサイド、右には純白のサイドがあります…

　それでは右に90度回転し、正面には元の純白のサイドがあります…同時に他の全てのサイドの色の輝きを見ることができます…

　それでは4つの全てのサイドからそれぞれの全ての色の輝きが、ピラミッドの全ての空間に入ってきてカバーしているのを見ます…

　純白の光が四面ピラミッドの内側を占め、赤い光、ホワイトブルーの輝き、そしてウルトラバイオレットの光も同じようにピラミッドの内側の空間を占めています…4つの異なった色の輝きがこのピラミッドの内側にありますが、それら4つの色はそれぞれ他の色と混じり合うことなく、そこにあります…

　今あなたというヒポスタシスはそれら4つの輝きで包まれていますが、正面の純白の輝きは純白であるあなたのヒポスタシスとほとんど同じですが、それでもそれら両方の輝きを区別することができます…そして周囲のサイドからの全ての色の輝きで包まれている結果として、あなたは何かを、効果を感じます…この効果に自分自身を開いて感じます…その影響を感じます…それはそれらのサイドの輝きを管轄しているアークエンジェル達からの影響です…

　いつか、あなたの周囲のアークエンジェル達のオーダーとコミュニケートできるようなステートになることを願います…実際、それらのオーダーはあなたの内側にあって、あなたの肉体の健康に向けてあなたを助けています。終わります。

EREVNA IIYP 40/KE06/?2/05/11

レッスン：PYR 41

テーマ：質問と答え

PYR 41 　KE06.S4 05/11

私の姉妹・兄弟達、スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　このレッスンでは全ての人の理解を助けるために質問とそれに対する答えになります。

Q：いつ個人的なアークエンジェルは現在のパーソナリティーに付き添い始めるのですか？

K：初めての転生の時にスパークが現在のパーソナリティーを活性化する瞬間です。そして同じアークエンジェルがその現在のパーソナリティーが自己実現に到達するまで付き添います。自己実現した現在のパーソナリティーが転生のサイクルに留まる時でも、そのアークエンジェル達はそのパーソナリティーに付き添います。

　5つの同じ全てのアークエンジェル達が一回目の転生から最後までその現在のパーソナリティーに付き添います。それらのアークエンジェル達はそれぞれ一つのオーダーを意味しますが、しかし彼等はオーダーそれ自体からではありません。彼等の仕事は現在のパーソナリティーが様々なオーダーとつながるのを助けることです。レッスンで述べたように、一つの守護大天使、一つのガブリエル、一つのラファエル、一つのミカエル、そして一つのウリエルがいます。

　目的は現在のパーソナリティーが徐々に少しずつそのアークエンジェル的本質をより多く現すようになることです。私たちはLifeそれ自体をより多く現すようになっていきます。もちろん、実在の諸世界にいる間に私たちの本質を完全に現すことは不可能です；私たちが現そうとするのは私たちのアークエンジェル状態、ヒポスタシスであり、Lifeの真の本質ではありません。私たちのLifeの真の本質はLifeのスパークだけであり、実存の諸世界にいる間はそれを現わすことはできません。

　その理由は、なぜならば私たちは完全に再形成されたサイコノエティカル体を持つようになるからです。それは誕生の結果となるでしょう；しかし、私たちが誕生というとき、それはまた聖霊的に築かれるでしょう、しかしパーソナリティーはそれに向けて聖霊と共同作業することができるでしょう、特に身体を維持するために。

　実際、それは同調と関係していますが、しかし完全な同調ではありません。誰でもいくらか努力をすればそれが可能です、なぜなら同調は私たちの内側にあるからです。もし私たちがパーソナリティーを悩ますものを少し脇にどければ、私たちはLifeのスパークのためにドアーを開き、Lifeのスパークは体験のために実在の波動のなかで同調を使います。そしてまた、無知のステートにいる間も他人を抱きしめることができます。

　あなたが誰かに心を奪われたり、あるいは執着し、誰かのことが気になります。そして誰かが嫌いです；それら全てが経験を与えます；そしてもしサイキカル体をもたなかったとしたら、私たちはその女性と交際したり、その女性に子供を産ませたりすることはできないでしょう；私たちが誰かに魅力を感じる時、対象に魅惑されることを生み出すのはサイキカル体です、たとえそれが最も低いエロチズムの波動であっても。

　聖霊はそれ自体の内側における絶対存在のダイナミックな現れです。それは聖霊的イデアを通じて表現されます。そしてそのイデアを通じた現れは異なったアークエンジェルのオーダーです。言い換えれば、それ自身の中における神の手は別のアークエンジェルのオーダーなのです。手段としてのマインドを使って諸宇宙を築くために仕事をするのはそれらなのです。実際、それが聖霊であり、それは絶対存在のダイナミックな現れです。絶対英知、絶対善、絶対パワーである神がいます。

Page2

 ですから、絶対パワーは聖霊的イデアを通じて表現され、聖霊の現れもまたイデアなのです。そしてロゴス的現れとの違いは、それらがプログラムされたセルフエピグノシスであり、この創造界のなかで各オーダーは特定の仕事をしなければならず、それ以上ではありません。しかしロゴス的現れは…それは人間のイデアですが…自由なセルフエピグノシスを有し、やるべき仕事が達成されるように体験を経験していきます。しかし、初めは私たちはインナーセルフとしてのアークエンジェルであり、プログラムされたセルフエピグノシスを持たないアークエンジェルだったのです。

　それゆえに、私たちは私たちのアークエンジェル的ヒポスタシスからもっともっと多くを現わす必要があるのです。それは私たちがサイコノエティカル的成長に向けて進み、あるいはLifeそれ自体をより多く現わすようになるべく進んでいくにつれて行われます。それが私たちに起きていることであり、アークエンジェル的ヒポスタシスをより多く表現していくのです。そして生命の木の上では、それは私たちの左側のサイドに相当し、それは14のステップのあるヤコブの梯子（はしご）です。

Q：病気と原因結果の法則に関してです。治療とは、その結果に働きかけるよりむしろ病気に対する特定の原因を取り除くのですけ？

M：医学、あるいは科学者は結果に働きかけますが、しかし原因には触れません。探求者、サイキカルまたはスピリテュアルなヒーラーの努力とは、もし可能であれば原因に働きかけます。さもない結果はでないでしょう。そしてそこに難しさがあります、原因結果の法則が働いているからです。結果を治すことはできるかもしれませんが、しかし原因が残っている場合、病気は再び戻ってきます。

Q：もし私が病気になり、その病気を取り除きたい場合、もし背後の原因がわかればその原因に働きかけることができるのですね。

K：それはケースによります。なぜなら、時にはもしあなたが原因を知ると、その原因をさらに強めてしまうこともあるからです；一般化することはできません、人によります。一般には原因を知ることはお勧めできません。多くの場合、そのパーソナリティーは何で苦しんでいるのかを知るべきでないのです。そのパーソナリティーに心理的影響を与えるからです。しかし、医者は患者側から訴えられることがあるので、原因を患者に告げます。

Q：パーソナリティーが既に過去に行ったことは取り除くことは不可能で、それが現在の状況を引き起こしています。ですから、ヒーラーはそのパーソナリティーに何を行うのですか？ヒーラーは結果ではなく原因を取り扱うということですが、しかし原因は既に起きてしまっています。ですからヒーラーは何を行うのですか？

K：全ての法則、および原因結果の法則を見ながらヒーラーはヒーリングを成功させる必要があります；しかし既にレッスンで述べたように、もしそれに関わるいかなる法則も治癒を許さない場合、ヒーラー自身が痛みのかなりの部分を背負うことができます。しかしそれ以外にも、慈悲の法則とも関係してヒーラーが行おうとするのは、その法則の結果を延長することです。つまり結果を長期間にわたって長引かせるのです。つまり、そのパーソナリティーは結果を次の転生においてもいくらか負担する、あるいは次回だけでなくその後の何回かの転生においても体験して返済するというものです。それは霊的ヒーラーが原因の状況をどのように見るかによりますが。

Q：しかし、パーソナリティーはそのヒーリングのプロセスでは何をすることができるのですか？

K：患者ができる唯一のことは病気にフォーカスしないことです；痛みを除去したければそこにフォーカスすべきではありません。なぜなら、もし結果が私たちに体験を与えなければ、原因がそこにある必要はないからです。結局、私たちに生じることは体験であり、もし痛みがあればそれはそれを体験するためです。もし私たちが痛みにフォーカスしなければ、それはそれを感じないということであり、それゆえにそこの原因がある理由はなくなります。そのようになっています。それゆえに私はしばしば痛みにフォーカスしないように、それについて考えないように、痛みを忘れるようにと言うのです。そうすれば、それはあなたを忘れるでしょう。そのようになっています。もし私に痛みがあれば、私の注意は全て痛みに向くでしょう；しかし、それ以外のことに私の注意がより強く向けられるなら、私はそれを忘れることでしょう。私が痛みから注意をそらすことを止めた途端に、それはまた戻ってくるでしょう。

　痛みが特にサイコノエティカルな意味と関係している場合には、完全にそこから注意をそらすようにします。あなたにとってより大きな興味を引くものに注意を向けるようにします、特にその特定のことがあなたに喜びを与えるなら。ですから、これがパーソナリティーが自分自身ですることができる唯一のことです。

Page3

Q ：あなたが述べたことは本当にそのとおりだと以前学びました。長い間私は痛みから注意を逸らすことが可能だとは信じませんでした。

K：誰でも何らかの意味で私が言ったことを体験していると思います、しかし人々はその瞬間にそれを意識していないのでそうと認識しなのです。

　勿論、痛みの背後には原因があります。しかし現在のパーソナリティーの潜在的可能性は大です。それが簡単かと言えば、答えはノーです。勿論、ノーです。しかし、そこには潜在的可能性があります。もしそのパーソナリティーがその潜在的可能性を現わすことができなければ、痛みを引き続き体験することになります。なぜなら、何であれパーソナリティーが潜在的可能性を現わすのは、Lifeからどれだけ多くを表現するかの結果だからです。

Q：痛みを体験するということには目的があります。その原因に目覚めるのは私たち次第であり、それは私たちがレッスンを学ぶことができるためでしょうか？

K：もしあなたがそのように言うならば、痛みから注意をそらすことはできなくなります。それはつまり、その痛みを体験しなければならないということを意味します。

Q：それは私が原因を悟り、なぜ自分に痛み、苦しみがあるのかを理解するということですか？

K：原因を理解する？どのようにしてあなたが原因を理解し、知るのですか？

Q：原因を理解して、なぜ自分はそのような原因を作ったかに目覚めるのでないとしたら、レッスンとは何なのですか？

K：人がレッスンを得るのは多くの体験を通してです。あなたは一回の人生で、痛みを避けるために十分なレッスンを学ぶことができると思いますか？

Q：いいえ、私は痛みについて述べているのではありません。しかし特定の出来事が何回も戻ってきて、私がそれにフォーカスしなければ、それはレッスンを学んだということですか？

K：何であれ意識的にレッスンを受け取ることができるようになれば、それはパーソナリティーがレッスンの目的を理解できるということです。

Q：時には、パーソナリティーが痛みを絶えず思い出して生き生きとさせることがあります。なぜなら、いつも繰り返しそのことを口に出すからです｡私はある人を知っていますが、彼は30年前に手術を受けたのですが、機会ある毎にその手術のことを話すのです。何針縫ったとか、何ヶ月ベッドにいたか、いかに苦しかったとか。ですから、そのパーソナリティーにとって痛みはまだ生きています。実際には肉体的痛みももはやなく、手術はとっくの昔に終わっています。すべては終わっているのに、しかしまだその体験に関する抑圧された感情にフォーカスしているのです。

K：それが私が先ほど述べたことです。それと向き合いましょう、身体の肉体的痛みであっても、サイコノエティカル体がその痛みを解釈するのです。

　もしパーソナリティーが身体に起きていることにフォーカスしなければ、痛みを感じないでしょう。結局、私たちは肉体の感覚エーテルのスイッチを切る能力があるのです。誰が感覚エーテルのスイッチを切るのでしょうか？それは肉体それ自体でしょうか？そのパーソナリティーがつながりを切るのです。

　残念ながら、皆さんはテクニカルな手段でそれを行うことさえできます。ナイフを自分の肉体に刺して見せるというパフォーマンスをする人々がいます。そのような幻想を抱く人ではなく、実際にナイフを肉体の片側から反対側まで刺し通してみせる人がいます。それでも血が流れることも、傷が残ることもありません。そのような人はどのようにして行うのでしょうか？感覚エーテルのスイッチを完全にオフにします。フォーカスしないことによって、ある程度そのようなことが起きるのです。

Q：しかし、すでに切断されて存在しない脚の痛みを感じる人がいますが、それはこの反対なのですか？戦争で脚を失ったのに、未だにそれを感じる人がいます。

K：あなたが痛みを創造するのです。それはまったく同じです。あなたが創造します、なぜならそこにフォーカスするからです。それは完全なイリュージョンです。いいですか、身体の一部分が切り取られたからといって、ダブルエーテルも無くなったわけではありません。ダブルエーテルはそこにあります。脚や手がないのに、その部分にかゆみを感じて掻こうとする人がいます。これは実際に科学者が体験したことですが、理由はエーテルダブルはまだそこに存在しているからです。

Q：感覚エーテルのスイッチを切るにはどうすればよいのですか？強いパーソナリティー、あるいはたくさんのエーテルのエネルギーが必要となりますか？

K：そのためにはエーテルの特質をかなりマスターしている必要があります。

Q：エーテルダブルもですか？

Ｋ：そうではありません。肉体の健康に影響を与える唯一のものは現在のパーソナリティーそれ自身です。感じ方、考え方、行動の仕方です。そしてその結果、エーテルダブルも影響を受け、病気、弱い身体などとなります。

Page4

Q：あなたの身近な人があなたのエネルギーと時間をたくさん奪い、そしてまた日常生活の中で他の人々を扱わねばならない時、そして時には罪悪感まで感じることがある時、あなたはそのような状況にどう対処しますか？

K：あなたがそのような体験のなかに置かれるのは偶然ではありません。もしあなたがそのような状況を容易に改善することができるなら、そうしなさい。そのような状況にフォーカスしないようにしなさい。もし周囲の人々と話し合うことができず、お互いの間に理解がない場合には…それが夫、妻、さらには子供であろうとも…各人が全ての人にとって最善だと見なされることをやろうとすべきです。それは時には別居、離婚が必要となり、また子供を手放すことが必要となるかもしれません。しかしあなたは何であれ他の人からの無理強いの下で生きるべきではありません。人に強いられることなく、相手を思いやるのです。そして何であれあなたが相手のためにできることをします。私はごく一般的なことを話していますが、もし双方にとって、あるいは家族のなかでそれ以上の人にも苦しみや痛みが生ずるのなら、あなたは解決策を見いだすべきです。人は誰でも誰かを所有しない、ということに気づいているべきです。そしてそのような原理のもとで、周囲の人々に対する思いやりの気持を失わずにそのような原理に基づいて働きかけなさい。

A：一つの夢を何年もの間繰り返し見ることがあります。それは何でしょうか、そしてその夢をどのようにして変えたらよいでしょうか？

K：その夢が繰り返されるのは、それが無意識の表面にあるからです。そしてパーソナリティーはそれに気づかずにそれにフォーカスしているからです。

　それがいつ消えるかは誰もわかりません。それはそのパーソナリティーがある特定のこと、特定の出来事、興味または恐れを抱いていること、またそれらの組み合わせにいかにフォーカスしているかによります。それを取り除くということは、パーソナリティーがその周波数または現れを変えるということです；それを完全に取り除くには、そのパーソナリティーの現れをかなり高い周波数にする必要があるかもしれません。そのパーソナリティーはそれにトライすべきです。人生における全ての良いことは一生懸命に努力した結果として得られ、私たちはそのことを心に留めておくべきです。

Ｑ：罪悪感は何を私たちに示そうとしているのでしょうか、その罪悪感は自分が行った何かとは関係していないこともあります。

Ｋ：そのパーソナリティーが自分で見いだすべきです。それゆえに内省、内観が必要なのです。それゆえに私たちは日常生活における自分の行為行動を分析する必要があるのです…同胞の人間に対する自分の態度行動がどのようなものであったか、何か間違ったことをしたか等。まず自分が行った間違いを認識する必要があり、そして自分が気づいたこと、反省したことを実践するべく努力します；そうすれば聖なるコミュニオンを受け取る準備ができます；つまり、自分のそのような態度を変えることによって、Lifeからより多くを現わすようになるということです。聖なるコミュニオンの大きなミステリー（＊神秘）は続きます、なぜならLifeそれ自体からより多くを現わすということはミステリーであり、いいですか、それは私たちの内側で起きている聖なる出来事であり、それはずーと続くのです。

Q：レッスンにおいて次のように言いました；モーゼがチッポラと会い、結婚し、子供が生まれ、そして藪が炎で包まれましたが、焼けなかったと。これはどのような意味ですか？

K：チッポラは生命の木の最後のセンターを意味します。つまり、モーゼは骨組みにエネルギーを与えることを完了し、その結果自己実現に到達し、内側のセルフと交流可能となり、十戒を受け取りました。そして2つの板は脳の2つの半球を意味します。

　完全に再形成された体、それが自己実現のステートに留まれば、それは自分自身をLifeのスパークの中に引き寄せます。自動的にサイコノエティカル体ではないもう一つの体を得ます。それは超サブスタンスの波動の体で、それはLifeのスパークの体と同一で、同じ波動です。そしてその体を有するパーソナリティーはもはや二元性を現わすことはありません。

　もし現在のパーソナリティーの転生を通じて到達した自己実現のステートに留まるなら、その時には1つのセンターだけとなり、そのセンターはハートのセンターです。なぜならLifeは一つであり、ニーズがないからです。

　しかし、自己実現したパーソナリティーはそこに留まるでしょうか？答えはノーです。ですからサイコノエティカル体は留まり、引き続き感覚を通じてセルフを現わします；自動的にまた二元性にもどります。しかしそこに到達するためには私たちはこの骨組みを完全に活性化する必要があり、それは下から上へと活性化されます。上、つまり頭から下へではありません。

Page5

このようなアプローチによって、あなたは可能なもっとも速い道であるアベニューに入ることでしょう。しかしそれはLifeそれ自体からより多くを現わすまでは、あなたにいかなる能力も力も約束しません。もしあなたが現象に魅惑されるなら、これはそのための道ではありません。人間は古代から現象に魅惑され、何としてでも現象を行おうとしてきました。その結果、彼等は悪魔、人間を無知のなかに留めるエレメンタルを生み出したのです。

Q：私たちが自分の部屋にいるということは、自分自身のエレメンタルだけが自分に害を与えるのでしょうか？

K：前に言いましたが、部屋の中で作りだしてものは何であれその部屋だけに留まることはなく、外にも出て行きます。しかしまたパーソナリティーは時々窓を開き、穴が生じ、他のエレメンタルも中に入ってきます。しかし、大部分は自分自身のエレメンタルによって影響を受けます。次第にあなた方は自分のエレメンタルと向き合うことが出来るような手段を得るでしょう。そうすれば、影響を受けなくなります。

Q：あなたは私たちが過去生退行をするべきではない、と言いました。なぜなら、そこで見る出来事が自分自身のものか他人のものか、わからないからです。しかし、それでも私はそこから何かを学ぶ事ができると思うのですが。

K：ディバインの意志に反することには賛成できません。ディバインの意志に逆らって、人間が正しいと信じることに私が同意すべきでしょうか？特に私が一人のパーソナリティーとしてですら、自分が話していることをわかっているのに。過去生を覚えていないということはディバインの贈り物です。例えそれが今生での出来事であっても。とっても嫌な出来事を思い出し、それをもう一回体験することがどんなことか想像できますか？しかも過去生のことでも。そのパーソナリティーは前に進むことが困難になり、過去の苦しみ、痛みに執着することでしょう。いいですか、もし過去の出来事が浮上するなら、それは最悪のことです。

Q：しかし、もしそれが起きたら、どのように対処するのですか？

K：もしそれが起きたら、無意識の表面に出てきたことにフォーカスしないようにさせ、さらに無意識のより深い部分に入らないように誰かがその人の注意をそこから逸らすために、多くの努力が必要となります。

　過去にフォーカスしないように他の出来事を持ってきて、その結果表面に浮上しているものを沈めるようにします。そのパーソナリティーを助ける人は、表面に何が浮上しているかを知ることができねばなりません。もし助けている人が何が浮上しているかを見ることが出来ない場合、相手を助けることはできず、その場合には何もしない方がましです。

　相手を過去に誘導するヒプノシス（＊催眠術）はあなたが行う最悪のことです。ヒプノシスによって悪習慣から解放されるような場合は別ですが。しかし、過去生退行は一般に非常に危険なことです。そして不可視のヘルパー達がそのようなケースを助けてくれるということについて神に感謝すべきです。さもないと、そのパーソナリティーが蒙ったダメージは回復不可能となることでしょう。

Q：自殺したパーソナリティーを助ける可能性はあるでしょうか？

K：勿論自殺は悪いことです。それはあなたが誰かを殺し、次の転生で同じ結果を経験するようなものです。それは地獄に落ちるということではありません。なぜなら、唯一の地獄はこの実存の波動のなかに存在しているからです。そこでは一人一人が自分自身の地獄と天国を体験しています。地獄はサイコノエティカル界にあるのではありません、サイコノエティカル界にいる間は人々は次の転生の準備をしています。それらの世界ではパーソナリティーはそのパーソナリティーにとって何であれベストなことを生きています；つまり何であれその人は自分が喜ぶことをしているからです。なぜならそのパーソナリティーは自分が欲することだけを作り出すからです。

Ｑ：今生を終え、サイコノエティカル界に入ると、そこでも悟りに到達するためにワークしていくのですか？

Ｋ：あなたがこの世界にいる間にワーク、努力するのがベストです。しかし勿論、それは同時にあなたが他の何に興味を抱くかにもよりますが。しかし、もし誰かが他人に奉仕できるようより良い自分を現わすことに完全にフォーカスするなら、その人は成功できるでしょう。向こうの波動のなかでは状況を体験するのがより簡単になります。なぜなら重力がなく、あなたは真の五感があるからです。

Page6

　人がサイコノエティカル界に留まる期間は1年から千年までいろいろで、それはその人が経験した、あるいは人に与えた痛みによります。もしパーソナリティーが多くの痛みを経験してきたなら、病院に入ることになり、勿論月がそのような場所の一つです。月と地球のサイキカル体がつながって移動できるのは月に一回、満月の時です。

　その時に、勿論無自覚に月から逃げ出すパーソナリティーがいる場合、引きつけ、テンカンという症状が起きます。そのような症状が起きるのは、逃げ出してきたパーソナリティーはそうと自覚することなく、実存の波動のなかで自分自身を現わす肉体を獲得しようとして、サイコノエティカル体とのつながりが緩い人を捕まえるのです。捕まえられる人は熱があったり、高熱のため等によりサイコノエティカル体とのつながりが弱くなっている人です。ギリシャ語ではセレニアスモスと言いますが、その意味は月からの何か、というものです。この意味は古代にギリシャの哲学者達によって与えられました。これらの言葉を生み出した人は多くのことを知っていたに違いありません。探求には終わりがありません；それは一回の転生で終わる、または数回のミーティングで終わるというものではありません。

レッスン　PYR41/エクササイズ　１

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白の自分自身を見、自分の形の境界を感じます…同時に純白の五芒星のなかにいて守られているのを見ます…

　それではとても気持の良い風景のなかに立っている自分を見ます…あなたは広大な自然の緑のカーペットのような草の上に立っています…草のような背の低い植物が生えています…周りを見回すとその緑のカーペットがどこまでも広がっていて空とつながっているように見えます…360度何処を見てもその緑のカーペットが空と接しています…あなただけがこの広大な緑のカーペットの真ん中に立っています…

　それではあなたが立っているその丈の低い新鮮な草を感じます…それを足の裏で感じます…一つの方向を見ると、正面に虹が形成されています、それはあなたの近くにあります、その虹は上空から広がっていて、その両端がこの緑のカーペットの2つのポジションに触れています、そしてあなたはその真ん中に立っています…そして目の前の空に別の色が見えます…虹とは別の色です…それは周囲にもう一つの色を添えています…それはアガピです…あなたはそれを感じ、そのアガピに引き込まれます…そして今あなたは浮いているのを感じます、その虹に向かって浮上していきます…あなたは遠くから見ているのではなく、その虹の中に入って抱きしめられたいと思います…どんどんそれに引き込まれていって、とうとうあなたは今その虹の中にいます…あなたは自分の形の境界を失い、虹のなかに広がっていきます…そしてその虹に完全に同調する結果、あなたはこの光景全体をアガピと共に抱きしめます…あなたは同時に虹を見ています…そして心のなかにアガピで抱きしめたいと思うものを持ってきて、目の前の光景のなかにそれを見ます…あなたはそれを見ます…それが苦しんでいる誰かであれ、町全体、国全体であろうとも…地球全体を抱きしめることさえできます…そしてあなたがそれらを抱きしめることによって、人類の苦しみが軽減され、地球上の全ての人々がお互いに相手を抱きしめる助けになることを願います…

　虹によって包まれていること、そしてあなたのアガピが常に地球上の他の全ての同胞の人間達を抱きしめることを願います…あなたは徐々に自分の形のなかに戻ってきて、自分の形のなかに入ります…あなたは虹の外に浮いていて、そして今元の場所に立っているのに気づきます…この体験があなたと共に留まり、そうしたい時にいつでも体験できることを願います。終わります。

EREVNA PYR 41 KE06.S4 05/11